

カシスの魅力堪能

都内で
サミット
新山さん(青森出身)らPR

カシス(黒房すべり)の健康、美容効果をPRしようと第三回「カシスサミット」が二十日、東京都内のホテルで開かれ、百六十人の参加者がカシスについて理解を深め、魅力を堪能した。

日本カシス協会理事で弘前大学副学長の加藤陽治さんが「カシスは、ブルーベリーよりポリフェノールを二倍、目によいアントシアニンを三倍多く含み、抗酸化力が高い」と講演。眼科医の勝海修さんが「カシスは眼精疲労、視力低下を防ぐ」と述べ、緑内障に効果があること

や、子どもの視力低下の現状について説明した。参加者にはジュースやムースなどが振る舞われ、同協会副会長の佐々木誠造青森市長も青森産の商品をPRした。

青森市出身の新山千春さんと小学生五人組のGirlsがカシスを使ってスベアリップなどを調理。「目にいいとおぼあちゃんに言われ、十歳ごろから食べていた」という新山さんは「カシスは青森が日本一。美容にもいいので、たくさんの人に食べてもらいたい」とPRしていた。

サミットは「カシスの日(七月二十日)」にちなみ同協会が主催した。昨年、青森市で第二回大会が開かれている。

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

タレントの新山さん
カシスの魅力PR
都内でサミット

七月二十三日の「カシスの日」にちなみ、「第三回カシスサミット」が

二十日、都内のホテルで開かれた。日本一の産地である青森市出身のタレント新山千春さんがカシスの料理を紹介するなどし、出席者にカシスの魅力をPRした。

サミットは日本カシス協会が主催。今回は昨年八月の青森市に続いての開催で、テーマは「カシスで毎日の健康を」。会場には約百五十人の市民らが訪れた。

最初に同協会理事で弘前大学副学長の加藤陽治氏が「カシスの健康パワー」と題して講演。引き続き眼精疲労へのカシスの効能が紹介された後、カシスを利用したムースやジャムの試食が行われた。このほか新山さんがカシスを使った簡単な料理を紹介し、「カシスは目にも美容にもいい肌にもいいので、たくさんの方に食べてほしい」とアピールした。

この画像は、陸奥新報社提供です。無断転載はできません。